

ひとロレポ

実施日：4月26日 科目名：おもしろ「子ども科学・手作りおもちゃ体験」科
講座テーマ：もの作りに科学の視点を・もの作り教育論
講師：音田輝元先生

- ◆音田先生の一生懸命さに思わず笑ってしまいました。スライムは楽しい。何でこれが子どもに受けるのか不思議だが……。銀色うずら、おもしろい。
- ◆今日もとても楽しい授業でした。帰って孫に復習してみます。
- ◆1時間目、背筋を伸ばしてしっかり音田先生の授業を受け、またその後スライム、うずら作り、たいへん楽しかった。充実した時間が過ごせて幸せです。
- ◆スライム作りが楽しかった。
- ◆今年はどうなことをして子ども達と遊ぼうかとワクワク感が高まります。おもちゃ作りは楽しいだけでなく、達人になりたい。
- ◆銀色ウズラの動きがかわいい。ある材料で簡単にできるので、家でもやってみよう。
- ◆もの作りの楽しさは味わえましたが、なかなか困難です。
- ◆スライム作りが良かったです。
- ◆スライム作りは水分が多かったせいか、上手くできなかった。銀色ウズラは簡単だった。
- ◆もの作り10種以上、子ども達に指導できるように確実にマスターすること、銀色ウズラ・スライム、自分で楽しんでばかりはいられない、しっかりせねば。
- ◆初めてスライムを知り、作って楽しかったです。これから機会をみて紹介したいと思います。
- ◆銀色ウズラの形が難しかったが、動き方が楽しかったです。
- ◆2度目の挑戦、スライムもウズラボールも成功、ヤッター！
- ◆本日、スライム×銀色ウズラ○
- ◆「科学実験授業」と「もの作り」の関係が少しずつ分かってきたように思います。銀色ウズラおもしろい！！
- ◆（科学教育）とは何かの講義も良かったし、その後のスライムづくり・銀色ウズラ、簡単に出来て楽しかった。
- ◆もの作りが全員できるように準備が大変だと思います。ありがとうございます。応援が必要な時は募集してください。
- ◆もの作りが始まり、楽しい時間がうれしいです。
- ◆もの作りの楽しさは、毎回でき方が異なり、その都度考えさせられることです。今年一年いろいろな物を作れることを期待しています。
- ◆授業・おもちゃ作り共に大変面白く、ワクワクしました。あっという間に時間が過ぎました。
- ◆授業ももの作りも「子どもが楽しむ」ことですね。納得です。
- ◆はじめての「もの作り」で、はらはらしながら、完成のよろこびを味わいました。

- ◆楽しかった！！
- ◆スライム作りは苦手です。ホウ砂を入れると固まるのがおもしろかった。
- ◆スライムと銀色ウズラは早速孫といっしょにやってみます、楽しみ！！
- ◆初のおもちゃ作り、童心に戻り楽しかった。子ども達なら、熱中するのも当然でしょう。
- ◆タノシカッタデス
- ◆子どもを楽しませるためには自分も楽しみ、興味を持つことが大切だと思った、これから楽しみ。
- ◆もの作りの不思議、楽しさを実感できた。この感動を子ども達の興味につなげたい。
- ◆初めてのもの作り、スライム・ウズラ、これから増えていくのが楽しみダー。
- ◆簡単に出来るおもちゃ、すぐ孫に見せてやりたい。
- ◆色々なもの作りのお話を聞いて早く体験したいと思いました。
- ◆「もの作りを科学の視点に」目からウロコでした。久しぶりに童心にかえり、スライム作りをしました。
- ◆銀色ウズラは早速利用できるのも、うれしいです。今日の授業も楽しかったです。
- ◆スライム作りは楽しかったです。子どもが喜ぶ内容が知れた。
- ◆銀色ウズラ、上手に出来なかったが、何とか出来た。

CDのひとロレポ

音田先生が一所懸命お話され、我々はその話に引き込まれていき、一緒に考えたり、笑ったり、周りの空気感が楽しい科学教室になっていきます。私達も子ども達と接する時、そんな楽しい雰囲気にするために、まず私自身が「やってみたいなあ・楽しいなあ・おもしろいなあ！」と感ずる・・・それが子ども達を引き付けていくんだらうと思いました。

そして、佐藤さんがいつも話されること「もの作り、失敗したら、なぜ失敗したか考え、工夫することが大切だ！！」と！！まさにもの作りは科学の視点ですね。

記：高松真津子